

詐欺メールの事例の一部になります。今後も内容を変えた新たな詐欺メールが発生することが十分想定されますので、一例としてご覧ください。

【例⑨】 システム不具合を装った詐欺メールの事例

差出人：全国信用金庫協会

件名：【信用金庫】【重要】ワンタイムパスワード補正する必要があります

平素は、信用金庫のサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

■システム不具合に伴う対応のお願い

年月時刻等の数字は変更される可能性があります。

2025年12月18日1時50分頃より、信用金庫における系統金融機関宛て振込の一部機能において、不具合が発生していることを確認しております。

本件の影響により、一部のお客様においてワンタイムパスワードの時刻ずれが生じる可能性があるため、所定の補正対応をお願いしております。

■お手続き方法

下記のボタンより専用ページへアクセスし、画面の案内に従って補正手続きを実行してください。

修正手続きを行う

この部分をクリックすると詐欺サイト（全国信用金庫協会のサイトを模した詐欺サイト）へ接続されるように設定されています。絶対にアクセスしないでください。

補正対策が完了していない場合には、一部サービスのご利用に影響が生じる可能性があります。

なお、補正完了後は数分お待ちいただいたうえで、アプリをご利用ください。

このたびはお客様にご不便・ご迷惑をお掛けしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

【お問い合わせ先】

信用金庫 ヘルプデスク

0120-XXX-XXX

今後とも信用金庫をよろしくお願い申し上げます。